

## 会 議 録

|              |  |
|--------------|--|
| 会議の名称        | 平成28年度第2回 藤岡地域会議   |
| 開催日時         | 平成28年5月24日午後6時30分開会・午後9時12分閉会  |
| 開催場所         | 藤岡総合支所旧議会棟 会議室   |
| 出席者氏名        | 別紙のとおり   |
| 欠席者氏名        | 別紙のとおり   |
| 事務局職員職氏名     | 別紙のとおり   |
| その他出席者等      | 別紙のとおり   |
| 会議事項         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・渡良瀬712「20の誓い」アクションプランについて（遊水地課情報提供）</li> <li>・平成27年度提案事業の実施について（地域予算提案制度）</li> <li>・平成28年度提案事業について（地域予算提案制度）</li> <li>・まちづくり実働組織について</li> </ul>  |
| 会議の公開又は非公開の別 | 公開   |
| 傍聴人の数        | 無し   |
| その他必要事項      | 無し   |
| 会議の経過        |  |
| 発言者          | 議題・発言内容・決定事項   |
|              | <p>1 開会</p> <p>2 新委員紹介</p> <p>3 会長あいさつ</p> <p>4 議事</p> <p>（1）渡良瀬712「20の誓い」アクションプランについて（遊水地課情報提供）</p> <p>&lt;説明&gt;</p> <p>◎会長 担当課に対し、協議事項の説明を求めた。</p> <p>○担当課 資料に基づいて説明した。</p> <p>&lt;質疑・意見&gt;</p> <p>◎会長 委員に対し、意見を求めた。</p> <p>◎A委員 危機管理の点について、渡良瀬遊水地は広大であり、夏場に落雷が起きた場合の緊急避難施設が必要である旨を以前地域協議会において提案したのだが、どの様に対応されているのかお聞きしたい。</p> <p>○担当課 緊急避難施設については、地域協議会からご提案があり、危機管理上当然必要なものであるため、昨年利根川上流河川事務所に整備について要望を行ったところである。課題としては、昨年9月には大雨による水害も発生したが、撤去を前提とするものなら可能かもしれないが、遊水地に固定された建造物の建設は難し</p> |

|             |  |
|-------------|--|
| <p>◎A委員</p> | <p>いということである。利根川上流河川事務所としても必要性を含めてさらに検討するということであった。渡良瀬遊水地保全・利活用協議会の場でも当然議論され、色々な関係団体からも意見が出されている。緊急避難施設の必要性は認識していても、どのようなものが一番重要であり、喫緊でどのような対応が可能なのか、ということは非常に難しくなかなか前に進めないという状況があるということのも事実であり、良いご意見がいただければありがたいというのが現状である。</p> <p>事故があつてからの対応では遅いので、速やかに検討いただきたい。もう1点だが、水上バイクというレジャーがあるが、渡良瀬遊水地という広大な水の施設でそれを楽しむことができたらと考えている。色々な制約の中で難しいと聞かすが、新しいレジャー等が可能になると新たな若い人たちの動きができると思うので、制約を克服するにはどのような方法があるのかを今後研究していただきたい。</p> |
| <p>◎B委員</p> | <p>渡良瀬遊水地には、来訪者が年々多くなっている。また、栃木市民スポーツの関係でウォーキングが行われているが、参加者からの一番の不評は、トイレが足りないということである。トイレをもう少し増やしていただきたい。なお、先程話が出た谷中湖におけるモータースポーツの件だが、アクリメーション振興財団から話を聞いたところでは、谷中湖では燃料の問題でエンジン付きのボートは使用できないため、電気式スクルーによりゴムボートを動かしているという現状がある。水上バイクとなると燃料の問題もあるのかと思われる。</p>   |
| <p>◎C委員</p> | <p>渡良瀬遊水地ガイドクラブを利用した方の年齢の割合と、地域の割合を教えてください。</p>  |
| <p>○担当課</p> | <p>本日は資料を持ち合わせていないため、後日情報提供することでご了解いただきたい。</p>   |
| <p>◎D委員</p> | <p>平成33年度までにシンボル施設の整備を行うということだが、この地域会議の前身の地域協議会で、平成25年12月に千葉県谷津干潟ビジターセンターの視察を行った。施設自体はそれほど大きくは無かったが、平屋造のしっかりした施設であった。また、注目すべきは干潟レンジャーというガイドの育成をしていて、ガイドのマネージメントもしっかり行われていた。その他には、オーストラリアのラムサール条約関係の地域と交流もしており、ハード面ソフト面ともにしっかりしているという印象であった。そのような情報は、遊水地課で把握していると思うが、お聞きしたいのは、施設を造るには相当お金もかかることになるが、栃木市が直営で施設を造る方法、環境省等の補助金を活用して造る方法、関係市町村や県の連絡協議会等合同で造る方法もあると思うが、考えを聞かせていただきたい。</p>  |
| <p>○担当課</p> | <p>ビジターセンター機能を有する施設整備に際し、1つは先進地の調査、もう1つ重要な部分は、地元での2次調査が必要と考えている。施設の場所やどのような施設が必要かということは、行政だけの力だけでは杓子定規のハコモノになってしまう可能性もある。運営面を直営にすべきか指定管理制度を導入すべきかの検討や、渡良瀬遊水地が4市2町から構成されているという面についての考慮も</p>   |

|                     |   |
|---------------------|---|
| <p>◎E委員</p>         | <p>必要となる。現在、市全体として公共施設の再編に取り組んでいる状況で、藤岡地域にある既存施設との連携という中で位置付けをしないと了解が得られにくいと思われる。先日、野木町に野木ホフマン館という交流センターができたが、栃木市だけではなくそのような近隣市町所有の施設が果たしている機能を調査し、活用できる部分は活用し、なお機能が不足している部分について栃木市で構想するビジターセンターに取り入れるという考え方も必要だと思う。財源については、治水利水ということが渡良瀬遊水地の根幹であるため、国交省の補助金や交付金を活用できないか話をしている。また、ラムサール条約登録湿地ということで、環境省についても調査をしたが、環境省には活用できる補助制度はないので、ソフト面で有益な情報を提供いただけるよう依頼しているところである。そうした事の整理を行いながら事業を進め、地域会議にも進捗状況を報告させていただきたいと考えている。今年度から始めるアンケート調査、来訪者のニーズ調査の報告等をさせていただき、その上で意見交換ができればありがたい。</p> <p>市にお願いだが、国交省が認定しているダムにはダムカードというものがあり、収集している方も多い。当然、渡良瀬遊水地のダムカードもあるのだが、残念ながら配っているのが加須市の道の駅きたかわべだけである。ダムとして利用している面積の大半は栃木市に属しているのだから、道の駅みかものほか、公共施設窓口で配付できるようにすれば来客等が増えると考えるので、対応を要望したい。</p> |
| <p>◎会長</p>          | <p>他に意見等がないため、次の議事に入ることを述べた。</p>  |
| <p>◎会長<br/>○担当課</p> | <p>(2) 平成27年度提案事業の実施について(地域予算提案制度)<br/>&lt;説明&gt;<br/>【田中正造翁銅像周囲整備事業について】<br/>事業担当課である公民館課に対し、協議事項の説明を求めた。<br/>資料に基づいて説明した。</p>   |
| <p>◎会長</p>          | <p>&lt;質疑・意見&gt;<br/>委員に対し、意見を求めた。</p>  |
| <p>◎A委員</p>         | <p>点字による表示についても対応できるとより好ましいと考える。</p>  |
| <p>◎F委員</p>         | <p>海外からの観光客のことを考えると、英文等の外国語表記について検討してはどうか。</p>  |
| <p>◎E委員</p>         | <p>段上には立派な碑文が設置されているので、案1のような簡易で小学生でも読むことができる内容に止めておき、盤面の余ったスペースに点字や英文などを入れるのも良いのではと考える。</p>  |
| <p>◎G委員</p>         | <p>予算的なことがあるが、観光地で良く目にする音声ガイド付の看板にしてはどうか。</p>   |
| <p>○担当課</p>         | <p>看板の素材をステンレスで計画した場合、予算的に音声案内の設置まではとても無理である。継続事業として地域会議から提案していただければ可能性もあるだろうが、今回は純粋に看板を設置するだけで精一杯の予算である。</p>   |

|      |   |
|------|---|
| ◎会長  | この件については、いろいろと意見が出ていることから、本日結論を出すことはせず、日を改めて地域会議で案を決定し提出することとしたいと考えるがいか<br>がが。  |
| ◎委員  | — 了承 —  |
| ◎会長  | 公民館課の退席を求めた後、次の議事に入ることを述べた。   |
|      | <b>【観光案内看板整備事業について】</b>   |
|      | <説明>  |
| ◎会長  | 事業担当課である藤岡産業振興課に対し、協議事項の説明を求めた。   |
| ○担当課 | 資料に基づいて説明した。  |
|      | <質疑・意見>   |
| ◎会長  | 委員に対し、意見を求めた。   |
| ◎H委員 | キャラクターのデザインについては、栃木女子高校の皆さんと考えたということ<br>のだが、看板全体のデザインについては、いかがか。せっかく整備するのであれば、<br>景観に合うようデザインされたものにしていただきたい。第1に、文字やこの<br>地域をイメージするものが一番大きく表示されるべきではないか。キャラクターが<br>指を指すというアイデアも、運転をしながら見るとキャラクターが指さし<br>していても解りにくく、むしろ矢印などのほうが視認性に優れているのではない<br>かと考える。デザインについては、地域会議にも考える余地を与えていただきたい。 |
| ○担当課 | 我々としては、地域会議で出された案に基づいて事業を進めさせていただく考<br>えである。  |
| ◎E委員 | 私は、渡良瀬遊水地キャラクターでは、Hearts 姫と Watarase712 しか知らな<br>かった。しかし、せっかくたくさんキャラクターがあるのであれば、キャラクター<br>を2体程度ずつ看板に描いて周知した方が良いのではないか。また、看板を場<br>所に応じたデザインとするのか、ある程度デザインを統一するのかを決める必要<br>があると考え。私個人としては、四季や場所などさまざまな景観について周知<br>すべく、複数のデザインを用いた方が良いと考える。  |
| ◎会長  | 看板のデザインについて、委員の皆さんは再度検討していただくようお願いし<br>たい。また、担当課に確認だが、整備する場所によりデザインを変える場合、予<br>算的にはどのようなになるのか。  |
| ○担当課 | 後日確認させていただく。  |
| ◎会長  | では、看板全体のデザインについては、この地域会議としていくつかに取りま<br>とめて担当課に提案することとしたい。また、それを受け担当課において作成さ<br>れた最終案を提示していただき、我々はそれを確認させていただくという流れで<br>よろしいか。   |
| ◎委員  | — 了承 —  |
| ◎会長  | 地域会議から担当課へのデザイン案の提出はいつ頃までにすれば良いのか。  |
| ○担当課 | 早ければ9月、10月に業者に製作が依頼できればと考えているので、そのス<br>ケジュールに間に合うようにご提案をお願いしたい。   |

|      |  |
|------|--|
| ◎会長  | では、改めてデザイン案を取りまとめるため、委員の皆さんは各自提案にご協力願う。  |
| ◎会長  | 次の議事に入ることを述べた。   |
|      | (3) 平成28年度提案事業について(地域予算提案制度)   |
|      | <説明>   |
| ◎会長  | 事務局に対し、協議事項の説明を求めた。  |
| ○事務局 | 資料に基づいて説明した。   |
|      | <質疑・意見>  |
| ◎会長  | 委員に対し「道の駅みかも「みかも亭」への市民ギャラリースペース設置事業」について意見を求めた。  |
| ◎A委員 | みかも亭の休憩施設としての目的は維持しつつ、ギャラリースペースを設けて活用すべきである。私がイメージしているのは、可動式の様な形にして、要望があった時に一部分をギャラリーとして使用する方法である。銀行等で行われているようなパネル展示もひとつの方法だが、展示物が限定されないよう、ある程度展示区画として確保することも必要である。具体的にどのようなギャラリースペースを設けるかということについては、総務産業建設部会から改めて提案し、それが休憩施設としての設置目的に反することが無いか地域会議で検討していただければ良いものとする。                               |
| ○担当課 | 道の駅みかもの建物自体については、補助金等の関係もあり手を付けるのは難しいが、休憩施設であるみかも亭については改修等についての制約はない。ただ、平成27年度から5年間の契約で指定管理者に現状のままの運営を前提に施設の管理をお願いしているため、指定管理者に内部の変更についての承諾を得る必要が生じる。今回の提案は前向きな話であるため、指定管理者の方でも反対ということにはならないと思うが、休憩所としての機能保全のため、単純にパネルや机を置いて作品を展示することは可能でも、ある程度の区画を占有の上展示することとなれば、必要な面積や形状について指定管理者と協議の上で進めていくことになる。 |
| ◎会長  | 先ほど、もう少し地域会議として具体的な内容を検討すべきという意見が出された。この件は、総務産業建設部会での検討事項とすることによろしいか。  |
| ◎E委員 | 確認だが、この事業については内容を今後煮詰めていくとしても、そもそも地域予算を活用した市への事業提案に値すると考えて良いのか。まずはそれを確認したい。  |
| ◎A委員 | 本日の会議の主眼は、事業案に対する所管課意見を踏まえ、地域会議と所管課で意見交換することである。事業を具現化するための具体的な事項については、部会において検討すべきと考える。  |
| ◎会長  | 今のご意見だが、今回検討する6事業案の中で、一般予算対応とされているものは、協議対象から外れるが、それ以外の事業案についての検討方法の提案であった。   |

|      |  |
|------|--|
| ○担当課 | <p>全体に関わることであるので申し上げるが、ご提案の事業案について遊水地課として否定しているものではない。ただし、現在、渡良瀬遊水地については、ハートランドプランということで、藤岡地域のみならず市全体としての捉え方をしているため、一般予算において計上できると考えた。今回は地域予算ということで、違ったものに活用していただくとありがたいという趣旨で意見をさせていただいたものである。それを踏まえた上で、先行して渡良瀬遊水地に関する事業を実施すべきとご提案をされれば、またお話を聞かせていただきたいと思います。</p>                                 |
| ◎会長  | <p>では、整理すると、総務産業建設部会提案の1番目の事業「道の駅みかも「みかも亭」への市民ギャラリースペース設置事業」については、地域予算提案事業として採択の可能性があるので引き続き検討とする。また、2番目の「渡良瀬遊水地に関する事業（3県境の看板設置、旧谷中村合同慰霊碑整備、旧谷中村排水機跡整備）」については、所管課にて一般予算で対応していただくこととする。3番目の「市民農園（わたらせふれあい農園）の利用率向上事業」については、地域予算による提案可能性はあるのか。</p>   |
| ◎E委員 | <p>この事業案については、資料に記載された所管課意見からでは事業化の可能性の判断が難しいので、ここで確認した方が良く考える。</p>  |
| ◎会長  | <p>この件について、藤岡産業振興課から補足説明はあるか。</p>  |
| ○担当課 | <p>市民農園（わたらせふれあい農園）の現状を申し上げますと、利用率が低迷している。今回は、地域会議から指導者の招聘というソフト面でのご提案をいただいたが、実はわたらせふれあい農園では、以前、県の農業改良普及員OBの方に依頼し、農業指導や教室を定期的に行っていた。しかし、現在は行っていないため、広く一般に参加者を募り農業指導ができれば良いと担当課としても考えている。また、ハード面については老朽化しており、木製テーブルなども老朽化により数年前に撤去したままとなっている。また、トイレについては仮設トイレが2基設置されているのみとなっており、改修できれば良いと考えている。</p> |
| ◎会長  | <p>つまり、一般予算でわたらせふれあい農園改修への対応は計画されていないということよろしいのか。</p>  |
| ○担当課 | <p>一般予算では、農園管理の委託料、土地の賃借料での支出となっているのみである。</p>  |
| ◎会長  | <p>では、地域会議として、地域予算で事業提案しても問題ないということか。</p>  |
| ○担当課 | <p>そのとおりである。</p>   |
| ◎A委員 | <p>所管課においても、ハード面での整備について問題意識を持っているとのことであるため、総務産業建設部会の中で、さらに検討したいと考える。</p>  |
| ◎会長  | <p>総務産業建設部会から提案された事業案について整理されたため、次に、教育民生部会から提案の1番目の事業「平将門と藤原秀郷の戦いの記念碑建立」について、ご意見をいただきたい。</p>   |
| ◎I委員 | <p>これについては、まちづくりセンターにおいて調査していただいた結果、史実としての根拠に欠けていると思われるため、今回の提案からは取り下げたいと考</p>   |

|      |  |
|------|--|
| ◎委員  | えるが、部会員の皆様よろしいか。   |
| ◎会長  | — 了承 —<br>では、教育民生部会として却下することで意見が一致したようなので、取り下げとさせていただきます。  |
| ◎会長  | 次に、教育民生部会から提案された事業案の2番「周遊型サイクリングコースやサイクルステーション、電動アシスト自転車の設置による地域振興事業」及び3番「渡良瀬遊水地や藤岡地域の特色を生かした映像等によるPR事業」についてご意見をいただきたい。  |
| ◎D委員 | 提案者から申し上げるが、どちらも藤岡地域の見どころを積極的にPRし、活性化を図るよう行政運営をしていただきたいと提案したものである。市では、今年度シティプロモーション課という部署もつくられたところだが、これらの事業案について、担当課としての所見をうかがいたい。   |
| ○担当課 | サイクリングに関するご提案について申し上げるが、昨今自転車ブームでもあり、いろいろなコースを設置したいということは、地域会議と同感であるが、自転車の貸し出しや管理にかかる人材や費用を継続的に確保するのは現状では難しいと考えている。地域の見どころを巡るコース設定やマップの作製及び配布については事業として良いと思うが、自転車そのものの設置、維持管理の仕組みづくりには、まだ時間が必要と考える。  |
| ◎D委員 | 自転車の管理についてだが、一つの方法としては、ふれあいバスの停留所の近くに駐輪場を設け、バスと乗り継いでご利用いただくこともできるし、自転車の運搬等はシルバー人材センターへ委託することもできる。市としては諸々の制約があり、ストップがかかることもあるとは思いますが、いろいろな発想や夢を持って地域振興を図ることが地域会議の本分である。今後とも市の担当課と地域振興のための積極的な意見交換をしていきたい。   |
| ◎E委員 | 以前、地域協議会委員から藤岡地域を対象にした乗り捨て型のコミュニティサイクル事業について提案したところ、市では既に栃木市全域を対象としたサイクリングロード整備事業を計画しているとのことで、そちらに検討が委ねられたという経過がある。川越市や札幌市など全国の観光地においてレンタサイクル事業が展開されている。予算との兼ね合いもあるが、藤岡地域でも検討の余地はあると考える。現状では、藤岡遊水池会館のほか、数か所の施設間での相互乗り捨ては可能だが、利用者にも活用法が周知されていない。そこを整理すれば可能性のある事業と考える。 |
| ◎会長  | 遊水地課としては、サイクリングによる振興事業についてはどのように考えているのか。   |
| ◎担当課 | サイクリングマップは、全庁的に市内全域を対象に作製したものがあるが、藤岡地域独自のサイクリングコースの設定については、渡良瀬遊水地のみならず地域の史跡等の様々な見どころをご案内できるものとして、他の地域には無い独自の事業となると思われるため、大変すばらしいご提案と受け止めさせていただいた。また、渡良瀬遊水地内のレンタサイクルについてであるが、現状、藤岡遊水  |

|      |  |
|------|--|
|      | 池会館では土曜日、日曜日の貸し出しは行っていないが、アクリメーション振興財団や渡良瀬遊水地ガイドクラブにもご協力をお願いし、併せて市で自転車を購入することも検討し、状況を改善していきたいと考えている。遊水地のPRに関するご提案の内容については、今年度市の組織に加わったシティプロモーション課を中心に行うことが市の方針として決定したものであるため、こちらは市にお任せいただきたいと思います。                           |
| ◎会長  | ここまでの協議で教育民生部会からの提案事業案の内、1番目の「平将門と藤原秀郷の戦いの記念碑建立」については、提案取り下げとなり、3番目の「渡良瀬遊水地や藤岡地域の特色を生かした映像等によるPR事業」については、市の一般予算により対応することとされた。では、2番目の「周遊型サイクリングコース、サイクルステーション及び電動アシスト自転車の設置による地域振興事業」の件についての取り扱いはどのようにしたらよろしいかご意見をいただきたい。     |
| ◎D委員 | この件については、継続審議ということにしてはいかかか。  |
| ◎A委員 | 最終的に乗り捨て型のレンタサイクルの整備を目指したいと考えるが、その前段階として藤岡に特化したサイクリングコースマップの作製というソフト的な部分については、部会を活用するなどして別の機会に検討すべきと考える。   |
| ◎J委員 | みかも亭について、平成27年度に9回利用実績があるとのことだが、1回ごとの利用人数は最大何人程であったのか。   |
| ○担当課 | 利用人数については資料を持ち合わせていないため、後日情報提供させていただくことでご了承いただきたい。   |
| ◎会長  | 色々ご意見をいただいたが、議事のまとめに入る。各部会からの6事業案の内、「道の駅みかも「みかも亭」への市民ギャラリースペース設置事業」及び「市民農園（わたらせふれあい農園）の利用率向上事業」の2事業を今年度の地域予算提案事業候補として引き続き検討することとする。また、「周遊型サイクリングコースやサイクルステーション、電動アシスト自転車の設置による地域振興事業」については、今年度の地域予算とは別に地域会議として継続審議していくこととする。 |
| ◎会長  | 担当課の退席を求めた後、次の議事に入ることを述べた。   |
|      | (4) まちづくり実働組織について<br><説明>  |
| ◎会長  | 事務局に対し、協議事項の説明を求めた。  |
| ○事務局 | 資料に基づいて説明した。   |
| ◎会長  | 事務局からの説明にもあったように、2月の意見交換会1回を終わった段階でまちづくり実働組織設立準備組織への参加の可否を問うのは時期尚早であり、実働組織準備会立ち上げに向けて再度各団体に集まっていただき意見交換を行い、参加に向けた意見を集約した段階で世話人または発起人を選出できれば、その後の会の立ち上げがスムーズに進むのではないかと考えているがいかが   |



|                             |  |
|-----------------------------|--|
| <p>◎委員<br/>◎会長<br/>◎会長</p>  | <p>か。</p> <p>— 了承 —</p> <p>当日は、委員の皆さまにも出席を要請するので、ご承知置き願う。</p> <p>次の議事に入ることを述べた。</p>  |
| <p>◎会長<br/>◎D委員<br/>◎会長</p> | <p>(5) その他</p> <p>委員に対し、その他の協議事項の有無について確認した。</p> <p>— 栃木市市民会議第10回全体会の出席報告 —</p> <p>他に意見等が無いため、議事の終了により、以降は事務局が進行する旨を述べた。</p>   |
| <p>○事務局</p>                 | <p>5 その他</p> <p>協議の中で、地域予算の事業案候補として引き続き検討することとなった2事業について、総務産業建設部会で再度検討することとされたが、その部会の開催日程については、会議後に部会長を中心に調整していただくことよろしいか。</p>   |
| <p>◎会長</p>                  | <p>事務局に確認だが、その件を第3回地域会議で検討することにした場合、スケジュール的にはどうなのか。</p>  |
| <p>○事務局</p>                 | <p>地域会議として集約された事業案を基に6月開催の地域会議で所管課との意見交換を行い、その後事業計画書案をまちづくりセンターにおいて作成し、7月地域会議においてご提案するスケジュールを想定していた。</p>   |
| <p>◎会長</p>                  | <p>つまり、6月の地域会議までに総務産業建設部会を開催し、事業案の詳細な内容を協議していただく必要があるということか。</p>   |
| <p>○事務局</p>                 | <p>そのとおりである。</p>   |
| <p>◎A委員</p>                 | <p>総務産業建設部会において事業内容を十分検討したものを、次回の地域会議でお示し、教育民生部会の委員の意見もいただき、取りまとめるべきと考える。</p>  |
| <p>◎会長</p>                  | <p>では、総務産業建設部会を開催するため、部会長には調整をお願いしたい。</p>  |
| <p>○事務局</p>                 | <p>また、27年度提案事業の「観光案内看板整備事業」の看板デザインについて、委員の皆さまから案を提出していただきたい。取りまとめたものは、6月の地域会議で協議していただく。また、提案が少数で提案趣旨が同様であった場合、正副会長にセンターから相談し、対応することとしたいと考えるがよろしいか。</p>   |
| <p>◎委員</p>                  | <p>— 了承 —</p>  |
| <p>○事務局</p>                 | <p>(事務連絡2点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木市地域自治交流会が10月8日(土)西方総合文化体育館において開催されることについて。</li> <li>・事前配付資料「地域会議等から出された意見書に対する市の対応状況」について。</li> </ul> <p>委員に対し、その他連絡事項等の有無を確認した。</p> |

|      |   |
|------|---|
| ◎K委員 | 推薦母体団体の役員改選により、本日の会議を以て後任委員に交代となる旨を述べた。             |
| ○事務局 | 次回会議は、6月28日（火）午後6時30分から開催することを連絡した。                 |
| ○事務局 | <p>6 閉会</p> <p>午後9時12分をもって第2回藤岡地域会議を閉会する旨を宣言した。</p> |

別紙 出席者及び事務局職員

出席者（委員）

|     |         |     |         |
|-----|---------|-----|---------|
| 会 長 | 小曾根 慎 一 | 副会長 | 田 中 廣   |
| 委 員 | 飯 塚 俊   | 委 員 | 山士家 力   |
| 委 員 | 池 田 昇   | 委 員 | 小笠原 義 仁 |
| 委 員 | 関 口 定 幸 | 委 員 | 田 熊 豊 和 |
| 委 員 | 毛 塚 麻由美 | 委 員 | 酒 井 一 則 |
| 委 員 | 福 地 智 子 | 委 員 | 山士家 光 幸 |
| 委 員 | 萩 原 繁   | 委 員 | 町 田 佳 子 |

欠席者（委員）

|     |         |     |         |
|-----|---------|-----|---------|
| 委 員 | 石 川 悦 史 | 委 員 | 田 村 孝 子 |
|-----|---------|-----|---------|

出席者（事務局）

総合政策部藤岡地域づくり推進課（藤岡地域まちづくりセンター）

|             |                     |
|-------------|---------------------|
| 飯 塚 勝（課長）   | 山 市 進（主幹兼地域づくり推進係長） |
| 亀 田 ミユキ（主査） | 五十畑 文 寛（主査）         |

出席者（担当課）

総合政策部遊水地課

荒 川 明（課長）

産業振興部藤岡産業振興課

|                    |                      |
|--------------------|----------------------|
| 片 柳 耕一郎（課長）        | 久 村 順 利（課長補佐兼商工観光係長） |
| 田名網 清（課長補佐兼農林振興係長） |                      |

教育委員会事務局生涯学習部公民館課

|                       |             |
|-----------------------|-------------|
| 佐 山 厚 子（課長補佐兼藤岡公民館係長） | 長 澤 忠 宏（主査） |
|-----------------------|-------------|